

作成日 1995 年 12 月 14 日

改訂日 2023 年 03 月 24 日

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 : MK 水性エポパテ 主剤
会社名 : メーカー株式会社
住所 : 〒189-0003 東京都東村山市久米川町 5-33-11
電話番号 : 042-393-2345
FAX番号 : 042-395-3253
担当部門 : 技術部
緊急連絡先 : 042-393-2345
製品の種類 : 合成樹脂エマルションパテ
用途 : 内・外部用下地調整材

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 : 分類できない

健康に対する有害性 : 皮膚腐食性及び刺激性	区分 2
: 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	区分 2
: 皮膚感作性	区分 1
: 生殖細胞変異原性	区分 1
: 発がん性	区分 1
: 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1 (呼吸器系)
: 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (呼吸器系、 腎臓)

環境に対する有害性 : 急性水性毒性 区分 3
慢性水性毒性 区分 3

GHS ラベル要素

絵表示、注意喚起語 :



危険

危険有害性情報：皮膚刺激

- ：強い目刺激
- ：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ：遺伝性疾患のおそれ
- ：発がんのおそれ
- ：臓器の障害（呼吸器系）
- ：長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器系、腎臓）
- ：水生生物に有害
- ：長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策：粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

- ：取扱い後は手及び身体をよく洗うこと。
- ：保護手袋を着用すること。
- ：保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ：汚染された作業着は作業場から出さないこと。
- ：使用前に取扱説明書を入手すること。
- ：すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ：この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ：環境への放出を避けること。

応急処置：皮膚についた場合、多量の水で洗うこと。

- ：皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。
- ：汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- ：眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ：目の刺激が続く場合、医師の診断手当を受けること。
- ：皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断手当を受けること。
- ：直ちに医師に連絡すること。
- ：ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
- ：気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。

保管：施錠して保管すること。

廃棄：内容物、容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従い廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

化学物質名	CAS No.	含有%	備考
ビスフェノール A 型液体エポキシ樹脂	25068-38-6	10.6	
ビスフェノール F 型液体エポキシ樹脂	9003-36-5	3.1	
含水珪酸アルミニウム	12269-78-2	17.8	
チタン酸カリウム	9766-31-3	1.2	
炭酸カルシウム	1317-65-3	47.9	
水	7732-18-5	18.1	
その他	—	1.3	

GHS 分類に寄与する成分：石英 CAS No. 14808-60-7 10.7%

(含水珪酸アルミニウムに含有)

4. 応急措置

目に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- ・付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・汚染された衣類をとりのぞくこと。
- ・大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

吸入した場合

- ・蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

- ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護

- ・適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用する。
- ・換気を行う。

5. 火災時の措置

消化剤

- ・全ての消火剤

使ってはならない消化剤

- ・情報なし

特有の消化方法

- ・周辺火災に対応して、消火活動を行うこと

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。目、皮膚への接触やガスの吸引を避ける。
- ・屋内では換気をしっかり行う。
- ・屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。
- ・周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項

- ・河川への流出等により、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

- ・漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・換気の良い場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。
- ・皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。
- ・取扱後は手・顔等はよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
- ・眼に入れないこと。接触、吸入又は飲み込まないこと。
- ・皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。
- ・過去にアレルギー症状を発症している人は取り扱わないこと。
- ・酸化剤並びに酸化性の強い物質との接触は避ける。
- ・漏れ、あふれ、飛散などによる作業場の汚れを防止する。
- ・取扱い場所には、関係者以外の立入を禁止する。

保管

- ・凍結、直射日光を避け、涼しい場所、換気の良い場所で容器を密閉し保管する。
- ・保管時の温度は 5℃以下あるいは 35℃以上にならないようにする。

- ・盗難防止のために施錠保管する。
- ・子供の手の届かないところに保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：設定されていない。

許容濃度： シリカ；0.03 mg/m³ 日本産衛学会

設備対策：適切な換気のある場所で取り扱う。

保護具

- ・呼吸器の保護具：作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
- ・手の保護具：有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。
- ・眼の保護具：取り扱いには保護メガネを着用すること。
- ・皮膚及び身体の保護具：取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策：作業中は飲食、喫煙をしない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

- ・形状：ペースト状
- ・色：白色
- ・臭い：エポキシ臭
- ・pH：データなし
- ・融点／凝固点：データなし
- ・沸点：データなし
- ・引火点：データなし
- ・発火点：データなし
- ・爆発範囲：データなし
- ・蒸気圧：データなし
- ・蒸気密度（空気=1）：データなし
- ・比重（密度）：約 1.77（25℃）
- ・溶解度：水に可溶性成分を含む
- ・オクタノール／水分配係数：データなし
- ・分解温度：データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の条件においては、安定。

危険有害反応可能性：データなし。

避けるべき条件：凍結を避ける。

混触危険物質：酸化性物質。

危険有害な分解生成物：データなし。

11. 有害性情報

皮膚腐食性及び刺激性

- ・ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂：区分 2
- ・ビスフェノール F 型液状エポキシ樹脂：区分 2

眼に対する重篤な損傷／刺激性

- ・ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂：区分 2
- ・ビスフェノール F 型液状エポキシ樹脂：区分 2

皮膚感作性

- ・ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂：区分 2
- ・ビスフェノール F 型液状エポキシ樹脂：区分 2

生殖細胞変異原性

- ・添加剤：区分 1

発ガン性

- ・石英：区分 1A

生殖毒性

- ・添加剤：区分 1（0.1%以上 0.3%未満含有）

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

- ・石英：区分 1

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

- ・石英：区分 1

12. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）：混合物の有害性加算値より区分 3

水生環境有害性（慢性）：混合物の有害性加算値より区分 3

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・廃棄においては、関係法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
- ・廃塗料、容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・容器、機械措置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理するか委託すること。

汚染容器及び包装

- ・ 空容器は内容物を完全に除去後、関係法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
- ・ 空容器・包装等はリサイクルを推奨する。

14. 輸送上の注意

共通

- ・ 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
- ・ 容器の漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

国内規制

- ・ 陸上輸送：道路交通法等の定めるところに従う。
- ・ 海上輸送：船舶安全法に定めるところに従うこと。
- ・ 航空輸送：航空法の定めるところに従うこと。

国外規制：輸出先の法規に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物（第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9）

石英

名称等を表示すべき危険物及び有害物

石英

変異原性化学物質

ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂、ビスフェノール F 型液状エポキシ樹脂

労働基準法

労働災害認定物質

ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂、ビスフェノール F 型液状エポキシ樹脂

化審法

優先評価化学物質

ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂、ビスフェノール F 型液状エポキシ樹脂

海洋汚染防止法

有害性物質

X 類物質：ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂

Y 類物質：ビスフェノール F 型液状エポキシ樹脂

16. その他の情報

主な引用文献

- ・GHS 対応 SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物(塗料用)〕改訂第4版
(日本塗料工業会)
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE)
- ・危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので取扱いには充分注意してください。
- ・この安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実施を対象としたものです。
- ・本製品は、この安全データシートをご参考の上、使用者の責任において適性に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。
- ・本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。
危険、有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意してください。